

科目区分	専門教育科目	科目名	生活支援技術A		科目コード	40501	担当者	田川千秋	
対象学生	介護福祉士コース1年生	学期区分	前期	単位数	2	卒業要件		必修	
						免許・資格要件	介護福祉士必修		
科目の主題						成績評価の方法と割合			
尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立、自己選択、自己決定を尊重し、潜在能力を引出したり、見守ることを含めた適切な介護技術を用いて安全に援助できる技術や知識を修得する。						定期試験 (50%) 臨時試験 (10%) 提出物 (15%) 受講態度 (25%)			
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標			
						誠実な人柄と人間力(尽心)	高度な知性と創造力(創造)	明確な意志と実践力(実践)	
1.	安全な生活支援技術を習得する。					○		○	
2.	その人に応じた潜在能力を引出す方法を考える。						○		
3.	介護を必要とする人の尊厳保持の観点、状態に応じた介護方法を考える。							○	
4.	他職種の役割を理解し協働できる					○			
5.									
授業方法									
モデル・援助者役を交代で実践する実技演習形式で授業を展開する									
準備学修 (予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)									
医学一般・こころとからだのしくみ・リハビリテーション・介護の基本・コミュニケーションなどをしっかり学び、技術習得のためくりかえし練習して下さい。									
授業計画									
第1回	オリエンテーション 生活支援技術の基本的な考え方 生活の理解 生活を理解する視点 生活支援技術Ⅰ(6)								
第2回	生活の理解 生活支援技術の基本的な考え方 生活支援技術Ⅲ(8) 生活の定義 アセスメントとは 利用者の状態・状況に応じた生活支援技術と介護福祉士								
第3回	感染症予防 手洗いとうがい 口腔ケア								
第4回	自立に向けた睡眠の介護① 睡眠の意義と目的 安眠のための介護 ベッドメイキング								
第5回	自立に向けた睡眠の介護② 睡眠の意義と目的 安眠のための介護 ベッドメイキング								
第6回	自立に向けた移動の介護① 安全で気兼ねなく動けることを支える介護とその工夫・杖歩行								
第7回	自立に向けた移動の介護② 安全で気兼ねなく動けることを支える介護とその工夫・車椅子								
第8回	移動の介護③ 安全で気兼ねなく動けることを支える介護とその工夫 体位変換								
第9回	移動の介護④ 安全で気兼ねなく動けることを支える介護とその工夫 体位変換								
第10回	身だしなみの介護 衣服の着脱								
第11回	自立のに向けた食事の介護① おいしく食べることを支える介護と状態・状況に応じた介護と留意点								
第12回	自立のに向けた食事の介護② おいしく食べることを支える介護と状態・状況に応じた介護と留意点								
第13回	自立に向けた排泄の介護① 気兼ねない・持ち良い排泄を支える介護 トイレでの排泄								
第14回	自立に向けた排泄の介護② 気兼ねない・持ち良い排泄を支える介護 オムツ・尿器・便器								
第15回	実技試験 ベッドメイキング 臥床者がいるベッドを二人でシーツを交換する								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
新・介護福祉士養成テキスト 「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 中央法規					利用者が安心できる介助方法を確実にできるようにしましょう。練習を繰り返してください。				